

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1024 号	氏名	小川 さやか
学位審査委員	主査 川上 純 副査 中根 秀之 副査 佐藤 克也		
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、様々な疾患の危険因子である肥満を研究対象とし、日本人労働者の肥満とタイプ A 行動パターン (Type A Behavior Pattern : TABP) との関連を検討したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>長崎大学職員定期健康診断を受け、本研究に同意し、かつ、データの欠落がない長崎大学職員 2,959 人 (男性 1,437 人, 女性 1,522 人) を解析対象者とした。肥満を従属変数として、男女別で多重ロジスティクス回帰分析で解析したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、肥満群は非肥満群に比べて、Body Mass Index (BMI)、TABP 得点、年齢が有意に高く、男性では種々の生活習慣を調整しても TABP は肥満に対して有意であり、女性では TABP は肥満に対して有意ではなかったが食行動の早食いが肥満に対して有意であることを明らかにし、今後の社会医学研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は社会医学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			